

人が参加し、同劇場で最終選考を実施。沼田指物をはじめ、菊間瓦(愛媛)や山

沼田指物の看板を制作し、5枚、横30センチ。ことになった。看板は縦97

ハクチョウの越冬地として知られる館林市の多々良沼と城沼で、オオハクチョウやコハクチョウを対象にした飛来数一斉調査が始まり、1日の調査で両沼合わせて過去最多の計319羽が確認された。

過去最多 319羽

正確な飛来数を把握するため、市と地元保護団体が2007年から調査を開始。毎年2月に計4回、両沼に3カ所ずつ設けた調査地点から肉眼



城沼と合わせて過去最多の飛来数となった多々良沼のハクチョウ。2日夕、館林市

地域再生につなげて

富岡甘楽 再編協議で懇談会

富岡甘楽地域の県立4高校(富岡、富岡東、富岡実、下仁田)と高崎市吉井高を加えた計5校の再編を話し合う県教委の「第1回富岡甘楽地区の高等学校の在り方に関する懇談会」が2日、富岡東高で開かれた。

福島金夫県教育長ら県教委関係者、各校関係者、市町村長ら約60人が出席。地域に望ましい高校について意見を交わした。

懇談会では、県教委側が最近3年間の5校への入学志願者数や富岡甘楽地区の今後15年間の中学卒業生数の推移を説明。昨年3月に策定した「高校教育改革推進計画」で、同地区の再編整備計画は2016年度をめどに行っていることに触れ、担当者は「地域に即した高校再編をするため、何

回でも議論を重ねたい」と述べた。出席者からは「地域再生を視野に入れた高校再編を」「基幹産業の農業や林業に力を入れた学科をつくるべきだ」「教員や保護者、子どもたちの要望も聞いた方がいい」など、さまざまな意見が出された。

5校は11年度入学者の後期選抜で、いずれも志願者数が定員割れした。次回の懇談会は4月以降に開く予定。

地位保全求め仮処分

地位裁 堀越学園 理事長ら申請

創造学園などを運営する学校法人堀越学園(高崎市八千代町、井上晴彦理事長)の経営悪化問題で、同法人の理事会に責任を問われて役職から解任された元理事長の男性(63)ら4人が2日までに、地位保全を求める仮処分命令を前橋地裁高崎支部に申し立てた。

元理事長の男性は1月10日、緊急理事会で理事や同大学長職などの要職から解任された。理事を務めていた実姉も解任された。申立書によると、緊急理事会は招集の手続きが欠落しているほか、出席した理事の1人が拘束され自分の

土壌調査628カ所 実測値を公表

県内農地の土壌中の放射能セシウムを測定し濃度別に色分けした分布図を公表していた県は2日、628地点の実測した数値を公表した。北毛の一部地域が相対的に高かったが、本年度

県内農地土壌の放射性セシウム調査の結果

Table with columns for location (土壌採取地点), land use (地目), and cesium concentration (放射性セシウム濃度). The table lists numerous locations across various municipalities in Iwate Prefecture, such as Aomori, Maebashi, and various districts, along with their respective cesium levels in Bq/kg.

※放射性セシウム濃度は2011年6月14日正午で減衰補正。数字は実測値で土壌の状態を加味した1日掲載の分布図と異なる部分がある。